

メガソーラーによる 環境破壊に規制を

メガソーラーについて、国立公園内に建設されようとして反対の声が上がっている長野県上田市や、霧ヶ峰に近い山林に東京ドーム40個分の面積を伐採、開発しようとする諏訪市の現地を調査し懇談。環境委員会で、乱開発に対する国規制を求めました。



長野県上田市メガソーラー予定地調査

GM生物、象牙取引規制 国は責任果たせ

名古屋港GMナタネ自生調査



名古屋港で遺伝子組み換え(GM)ナタネの自生状況を調査。環境委員会で、輸入したGMナタネの種子が輸送中にこぼれ落ちて自生し、地元の菜花生産に影響を与えていた三重県の事例を紹介。GM作物による損害への措置の法規定と、生物多様性の確保を図るために規制措置の徹底を求めました。

「種の保存法」改正案の質疑では、国際的要請に応えた象牙取引規制を求め質問。ワシントン条約の締結国会議で、象牙の「市場閉鎖決議」が挙げられ、各国が閉鎖に向かう中、日本が唯一の合法的市場となり、違法な象牙を呼び込むことになると指摘。

同条約の誠実な履行を求めました。



環境団体との懇談



農民連食品分析センター訪問

週末は各地のつどいで
みなさまと
お会いできることを
楽しみにしています。

廃棄物処理法、リサイクル 生産者責任明確に

廃棄物処理法改正に関わって、不適切な不用品回収業者による使用済み物品の放置に対応した条例を制定した鳥取県を訪ね調査。名古屋港では火災が発生した名古屋港の金属スクラップ置き場などを調査しました。環境委員会では、神奈



川県綾瀬市でのスクラップヤード崩壊の事例も紹介し、体制強化など、自治体を支援し、実効性あるものとすべきと質問。使用済み家電などを適正なリサイクルルートに乗せるため、国も今回の法改正で回収業者の規制に踏み込むべきと指摘。廃棄・リサイクルまでメーカーが責任を負う拡大生産者責任を明確にすべきと要求しました。



土壤汚染につながる 規制緩和やめよ



土壤汚染対策法の調査で、三重県庁で話を聞き、四日市コンビナートの住宅地と隣接する現状や産廃を埋め立てたところなどを調査。

環境委員会では、届け出や汚染土壤処理の義務も緩和する規制緩和を、事業者の責任が曖昧になり汚染が拡大すると指摘。産業界の要請に

従って、対策を求める世論に逆行する。東京・豊洲新市場のように「官製土壤ロングドーリング」が横行しかねない、第二第三の豊洲問題を生み出してしまうないと批判しました。



三重県庁聞き取り

北陸信越ブロック事務所 〒380-0928 長野県長野市若里1-12-7
TEL 026-227-3220
東海ブロック事務所 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄3-12-25
TEL 052-264-0833
国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館408号

ごあいさつ

暴走国会、安倍政権と対決

初めての通常国会は共謀罪など安倍暴走国会となりました。日本共産党国会議員団の一員として、他の野党、市民の皆さんと共に共謀罪の廃案、そして廃止のために奮闘してきました。委員会質疑などでは、現地調査や皆さんとの懇談などを通じて、環境と健康守れ、原発再稼働やめよ、日本に求められる平和外交をと、論戦を進めてきました。国会報告を作成しましたので、ぜひご覧ください。

アベノミクスは破たん

参院本会議での2016年度第3次補正予算の反対討論で、アベノミクスの破たんによる貧困層の拡大と、税収不足での多額の赤字国債の発行を指摘。そのもとでの後年度負担を含む軍事費の大幅な増大を批判しました。



2016年度第3次補正予算参院本会議反対討論(2017年1月31日)

ホームページ、リニューアルしました。<http://takeda-ryosuke.jp/> ぜひご覧ください。



共謀罪廃案、都議選勝利に全力



共謀罪廃案・廃止国会前行動

安倍政権の暴走ぶりが際立った終盤国会。共謀罪の廃案のため、日本共産党国会議員団は一丸となって、他の野党、市民の皆さんとともに奮闘。強行採決後も、廃止を訴え。引き続く都議選では、街頭から安倍政権の暴走ぶりを告発。武田議員も新宿区をはじめ都内各所で訴え。自民は歴史的大敗。日本共産党は17議席から19議席に躍進。

日本共産党 参議院議員

Takeda Ryosuke

たけだ良介

- 環境委員
- 災害対策特別委員
- 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員
- 国際経済・外交に関する調査会理事

プロフィール
1979年、長野県中野市生まれ。2003年、信州大学教育学部を卒業し、民青同盟長野県委員会専從役員となる。2004年民青同盟長野県委員長。2016年7月、参院議員初当選

活動紹介

健康と環境おびやかす 規制緩和許されない

参院環境・経産合同審査会での「化審法」質疑で、武田議員はカネボウ白斑被害をとりあげ、産業界の要望による化学物質の審査制度のさらなる緩和は許されないと主張しました。



化審法質疑 4月6日 参院経産・環境連合審査

原発再稼働やめよ

福島事故の反省もなく、原発の再稼働、輸出、そして新增設まで行おうとする安倍政権。武田議員は、柏崎刈羽原発、日本原電東海発電所等の調査に基づき、参院環境委員会で、免震重要棟の偽装問題などについて質問。新たな安全神話で、再稼働に突っ走ろうとする国と東電の姿勢を追及。東電社長に再稼働やめよと迫りました。



金曜官邸前行動

被災者によりそって

糸魚川大火では災害直後とその後、現地におもむき、被災者の方から要望を伺い、松本防災担当大臣に申し入れ。災害対策特別委員会で、住民の声に応えた復興街づくり計画の作成や、既存の制度にとらわれず、実態に即した生業(なりわい)支援を求めました。同委員会では、さらに、長野の防災ヘリ事故について、山岳県長野に見合った安全対策、パイロットの養成、ヘリの配置を求めました。長野県飯山市の土砂災害、長野県北部の大雪被害では、現地調査を行い、ただちに関係省庁に必要な対策を求めました。小池書記局長との、東日本大震災の宮城県での調査懇談では、6年がたちますが、住まいと生業、街づくりの復興は道半ばの切実な現状と声が示されました。



東日本大震災調査(宮城)



飯山土砂災害調査(長野)



新潟糸魚川大火防災大臣申し入れ

若者とともに

民青同盟の信州大学の奨学金シンポに参加し対話。国会での交渉を支援しました。長野諏訪木地区の東京学習ツアーの国会見学を支援。新潟阿賀野の青年のつどいで対話、などなど。



柏崎刈羽原発調査



日本原電東海発電所調査



いつも 共にたたかう

署名提出集会で受け取り



戦争法反対国会前行動



オスプレイ低空飛行で防衛省に抗議



中池見湿地調査(福井県敦賀市)



富山政府交渉



新潟水俣病阿賀野調査



坂下病院問題で懇談(岐阜中津川市)

即行動、 即実行

即行動、
即実行



世界基準、 世界視野

昨年、COP22に参加し、温暖化防止でつながったモロッコや韓国の国会議員と、帰国後も交流。日本のJBIC(国際協力銀行)が融資し、フィリピン現地で環境や生活破壊を及ぼしている石炭火力発電所建設問題について、岩渕友参院議員らとJBICを追及。現地の被害者から要望を聞きました。

拉致・北朝鮮特別委員会では、拉致被害者の方々から心情を伺い、岸田外相には安保理決議に基づき対話を通じた平和的解決をと指摘。国際経済・外交調査会では、温暖化問題等での外交での議員や市民の役割や、自衛隊の海外派兵がNGOの活動に与える影響などについてNGO関係者

らに質問。意見表明では、北朝鮮情勢をめぐって緊張が高まる中、日本は憲法9条を持つ国としての外交が求められ、そしてこそ、核兵器を持たない国として、世界の永続的平和に寄与できると発言。



韓国議員団との懇談



モロッコ議長団との懇談



JBIC融資石炭火力発電フィリピン現地被害者との懇談